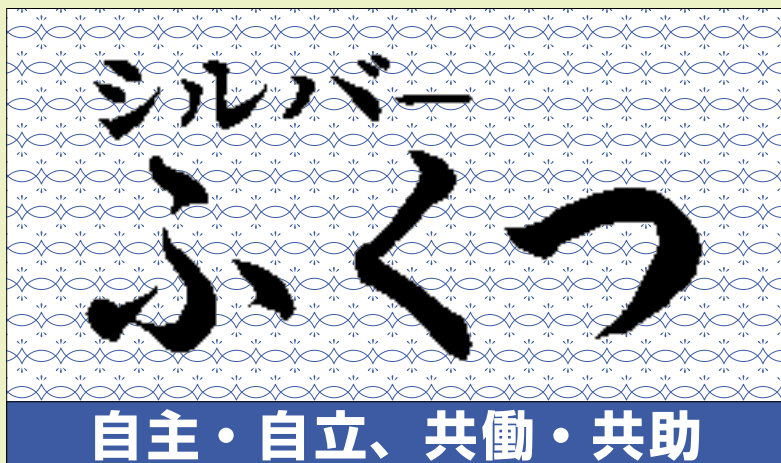




2012 年〔平成24年〕8 月10 日

第15号

公益社団法人

福津市 シルバー人材センター

企画・編集／広報・啓発推進委員会

福岡県福津市手光南二丁目1 番1 号

(〒811-3218) TEL 0940-43-6541

FAX 0940-43-1214

mail fukutsu-sc@sjc.ne.jp

URL <http://www.fukutsu-sjc.jp/>



盆 お ど り 寺本博一（会員、日本折紙協会講師）

あなたのまわりに
60 歳以上の
健康で働く意欲を
もった方は
いませんか

シルバー人材センター入会希望者 説明会

- と き 毎月第3 水曜日 午前 10 時から
(10 月から第1、第3 水曜日の月2 回になります。)
- と ころ ふくとびあ いきいき交流館
福津市手光南二丁目1 番1 号
- 問 い 合 わ せ
公益社団法人 福津市シルバー人材センター
TEL 0940-43-6541

積極的な社会の担い手へ



公益社団法人
福津市シルバー人材センター

理事長 清水 幸男

昨年より取組んできた公益社団法人への移行認定申請は認定を受け既に四月一日より公益社団法人として事業活動を開始しております。これも会員の皆様の前向きな努力によるものと感謝申し上げます。

さて二十三年度を簡単に総括しますと全体の事業実績としては前年比98%となりましたがコンプライアンスの観点から、請負業務から派遣業務へ切り換えた分を加えますと就業延人員は昨年より大きく増加しております。これこそがシルバー人材センターが目指す健康で地域に貢献する姿ではないでしょうか。

国庫補助金は厳しい減額がありましたが、市補助金につきましては市長さんを始め市当局関係者がシルバー事業を理解していただき前年並の交付を受けております。この事については関係者に深くお礼申し上げます。

今回は特別にビッグニュースをお知らせ致します。

当シルバー人材センターが優良表彰を受けました。この事は会員の皆様の日頃の努力と市民の皆様、更に市当局関係者の熱意ある、ご支援・ご指導があったからだと思っております。

景気の動向、補助金等の問題で全国のシルバー人材センターの経営は平成十九年を機に下降気味で景気回復は一気に望めない現状において公益社団法人としてスタートしました。

今や少子高齢化社会は28人の生産者年齢人口で一人の高齢者を支えています。

そこでシルバー人材センターが社会の積極的な担い手としての役割を期待されているところです。

先の定時総会で選任、承認された役員の方々と今、何が重要なのか何が出来ると常に課題意識を持ちながら業務を前に進めて行く所存でございます。今後共御指導、御鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成二十四年度 定時総会開催される

去る五月三十一日(木) 福津市健康福祉館において、平成二十四年度「公益社団法人福津市シルバー人材センター」定時総会が開催されました。

会員総数 四七九名に対し
出席者数 一三〇名
委任状数 二六五名
合計 三九五名で、

定款第十八条(会議の定足数)に基づき、総会の開催となりました。

大塚理事の「開会のことば」で開始され、清水幸男理事長の挨拶、次に、小山達生市長、大久保三喜男市議会議員、阿部弘樹県議会議員(代読)、古賀敬



章衆議院議員(代読)とご祝辞を頂きました。

引き続き、ご列席頂きましたご来賓の方々の紹介が行われ、祝電の披露が尾辻祥子理事によつて行われました。

その後吉野洋保氏が議長に選出され審議に移りました。

Ⅱ 第一号議案 平成二十三年度 事業報告 Ⅱ

公益法人制度改革三法が施行され、社団法人福津市シルバー人材センターは、公益社団法人として県の認定を受けることを重要課題として取り組んでまいりました。これには二度に及ぶ書面表決など多くの時間を要しました。

又、再度の事業仕分けにより非常に厳しい運営を強いられるなか、事業の推進に努めてまいりました。

景気に恵まれない状況の中で目標受注額には達しませんでした。が、会員皆さんの誠実な就業活動及び派遣事業の取り組み等によって、実質昨年度事業実績を上回ることが出来ました。

次に役員会の活動報告、月別行事報告の後、各委員会(運営統括委員会、安全推進委員会、適正就業推進委員会、生活援

助・子育て支援推進委員会、広報・啓発推進委員会)および平成二十三年度シルバー人材センター事業普及啓発促進事業「第七回シルバーまつり」の活動内容報告。

その後、会員の入退会状況、年齢別構成、会員数、六十歳以上の市人口構成比の推移、会員の入会経路、動機、退会理由別数等の説明がありました。



福津市長
小山 達生

本日、ここに「福津市シルバー人材センター定時総会」が、このように盛大に開催されま

活力ある長寿社会の創造のため

さらなる発展を!!

祝い申し上げます。

貴センターでは、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念の

下、地域のニーズに柔軟に対応したサービスを提供しております。特に介護・環境・子育ての分野でのボランティア活動も行っていたいただいております。このことは、理事長をはじめ会員皆様の努力の賜であり、心から敬意を表しますとともに感謝申し上げる次第でございます。

Ⅱ 第二号議案 平成二十三年度決算報告及び監査報告Ⅱ

貸借対照表・正味財産増減計算書・その他財務諸表の監査報告・質疑応答が行われ、第一号、第二号議案共に賛成多数で原案通り可決されました。

Ⅱ 第三号議案 公益社団法人福津市シルバー人材センター定款の一部を改正する定款Ⅱ

本市においても高齢化が進行するなかで、高齢者の方が地域社会の担い手として活躍できる社会づくりは、益々大きな課題となっておりま

定款の一部改正については、会員の三分の二以上の賛成が必要であり一部改正の説明の後、全員賛成で承認されました。

Ⅱ 第四号議案 役員の選任Ⅱ

平成二十四・二十五年度の役員として理事十二名(新理事五名)・監事二名(新監事一名)合計十四名が提示され、承認されました。臨時の理事会が開か

更なるご理解とご協力をお願いしたいと考えております。

団塊世代の方々の定年が本格化している中で、高齢期の過ごし方や地域社会との関わり方など、高齢者のニーズは多様化し、シルバー人材センターの果たす役割も重要となつてきております。貴センターが、これ

からも地域社会の活性化に貢献され、健康で働く意欲の盛んな皆様の活動の場として、さらに発展していかれることを願っております。

最後になりましたが、会員の皆様一人ひとりが相互に注意し、事故防止や安全就業の徹底を図りながら、事業の推進に努めていただきますとともに、本日ご出席の皆様方のご健康と益々のご活躍を祈念申し上げます。私のあいさついたします。

れ、理事長に清水幸男氏、常務理事に八波和廣氏がそれぞれ再選されました。



新役員の自己紹介に引き続きⅡ報告事項についてⅡ

一、平成二十三年度予算実績比較報告について
二、平成二十四年度事業計画について
三、平成二十四年度収支予算について

説明が行なわれ、定時総会の全ての議題が終了しました。退任される理事・監事にそれぞれ感謝状が授与され、代表して松本連藏氏による退任の挨拶があり、最後に藤岡清利理事による「閉会のことば」で平成二十四年度定時総会は無事終了しました。

平成24・25年度 役員紹介 (理事・監事)

定時総会にて私たちが選任した
十四名の役員さんです。
趣味、モットー、抱負についてお
伺いしました。



理事長
清水 幸男

・趣味
読書(推理小説)
・モットー
「二期一会」
抱負
全ての事に課題意
識をもつよう、心
がける



常務理事
(事務局長)
八波 和廣

・趣味
カラオケ
・モットー
「城は石垣」
抱負
職務に専念し、セ
ンター事業の推進
に努める



理事
(市健康福祉部長)
中村 一枝

・抱負
公益社団法人と
しての新たなシル
バー人材センター
事業運営の為、微
力ながら努める



理事
寺嶋 彌壽人

・趣味
ゴルフ・菜園
・モットー
「会員相互の和」
抱負
シルバー人材セン
ター発展に尽力



理事
青谷 勇

・就業職種
学校用務員
・趣味
ゴルフ・麻雀
・モットー
「仕事で良い汗
を」
抱負
理事として職務に
尽力



理事
嶺 義修

・就業職種
施設清掃
・趣味
ゴルフ・社交ダン
ス・登山
・モットー
「遊び、生活、仕
事に努力と工夫、
そして思いやり」
抱負
何事も好奇心旺盛



理事
尾辻 祥子

・就業職種
学校用務員
・趣味
家庭菜園
・モットー
「何事にも一生懸
命」
抱負
郷づくりと老人会
で人の繋りをもつ



理事
貝原 美恵子

・就業職種
子育て支援
・趣味
太極拳・パソコン・
グラウンドゴルフ
・モットー
「始めた事は最後
までやる」
抱負
できる限りがんば
る



理事
藤岡 清利

・就業職種
生活サポート
・趣味
卓球・釣り・菜園
・モットー
「全ての事に真面
目」
抱負
顧客に満足される
仕事をする



理事会風景



理事
大塚 洋一

・就業職種
剪定
・趣味
ゴルフ・魚釣り
・モットー
「楽しく働くこ
と」
抱負
剪定作業を通じて
地域社会に貢献



理事
山田 嘉勝

・就業職種
公共草刈
・趣味
花鑑賞と温泉探訪
・モットー
「プラス志向」
抱負
無事故で終業お疲
れ様又あした



理事
吉積 公美まさよし

●就業職種 学校用務員
●趣味 ゴルフ
●モットー 「時計は5分進めよ」

●抱負 生きがいづくりを推進し、創意工夫と斬新な発想による事業運営



監事
水流 忠人

●就業職種 有料駐輪場
●趣味 水墨画・描くこと
●モットー 「健康で長生き」
●抱負 監事として職務に尽力



監事
柴田 巖

●就業職種 施設清掃
●趣味 登山・海釣り・ウォーキング
●モットー 「ピンピンコロリ」
●抱負 基本理念の自主・自立、共働・共助に努める

当センターが 優良賞を受賞!!

去る六月二十五日に開催された全国シルバー人材センター事業協会設立三十周年記念式典において、当センターが「優良シルバー人材センター」として表彰を受けました。

これは、活発かつ地域社会への貢献度が高く、シルバー人材センターの模範となる事業運営が行なわれているという点において当センターが評価をしていただきました。

福津市シルバー人材センターは、今後さらに就業をととして高齢者の生きがい増進、地域社会の活性化等、公益目的事業を積極的に推進してまいります。



全国優良シルバー人材センター表彰状

平成24・25年度 専門委員会

◎委員長
○副委員長

(一)運営統括委員会

◎清水 幸男(理事長)
◎寺嶋彌壽人(理事)
八波 和廣(常務理事)
中村 一枝(理事)
松尾 文子(事務局)
熊谷 滋(事務局)

(二)安全推進委員会

◎山田 嘉勝(理事)
◎青谷 勇(理事)
原 利秋(会員)
寺野 澄夫(会員)
尾崎 義博(会員)
竹崎 道徳(会員)
鳥飼 芳秀(会員)
熊谷 滋(事務局)

(三)適正就業推進委員会

◎嶺 義修(理事)
◎松浦 茂(会員)
尾辻 祥子(理事)
寺松 隆男(会員)
安永 邦男(会員)
濱田 久男(会員)
田島 英三(会員)
森田 茂男(会員)

(四)生活援助・子育て支援推進委員会

◎藤岡 清利(理事)
◎貝原美恵子(理事)

(五)広報・啓発推進委員会

◎吉積 公美(理事)
◎大塚 洋一(理事)
高崎 義博(会員)
坪井 タエ(会員)
木下 政行(会員)
花田 勲(会員)
富田 洋三(会員)

平成24年度 職群班長

●剪定

一班 西山 三郎
二班 堺谷 光男
三班 増田 義則
四班 大塚 洋一

●公共草刈

一班 山田 嘉勝
二班 井本 均

●民間草刈

一班 山内 満
二班 鳥飼 芳秀

●公共除草

一班 平山 忠勝
二班 林 敏秀

●民間除草

一班 花田 通明
二班 井本 昌之

●生活サポート班

二班 藤岡 清利

●清掃班

二班 塚本 利彦

●駐輪班(有料)

二班 富田 洋三

●駐輪班(無料)

二班 武藤 勇

安全就業強化月間(七月)

安全就業促進大会に 参加して

安全推進委員会委員長 山田 嘉勝

去る七月五日、博多区で開催された福岡県シルバー人材センター連合会主催の平成二十四年度安全就業促進大会に安全推進委員会のメンバーが参加しました。

全県四十二市町村のセンターの仲間が参加し、安全就業優良センターとして三センターの表彰に続き安全標語入賞発表と表彰が行われました。

事例発表では、志免町センターがセンター独自で安全就業

大会を開催し、会員の約半数が

参加していること、残念ながら

二年以上続けていた無事故記録

がこの四月に途絶えたが、すぐ

にその対策として無事故記録

ボードを設置するなどして無事

故ゼロの記録に再チャレンジし

ていることなどの報告がありま

した。

また、記念講話では、「心の健康と安全対策」のテーマで、

気分転換と休息を早めに取り、

ストレスと上手につき合うこと

が安全就業につながる話し

がありました。

「安全は、全てに優先する」

との就業の原点を再確認する意

味で意義深い大会であったと思

いました。

安全標語入選作品

応募作品49点

安全就業月間(七月)にともない、安全標語の募集があり、当センターでは二十一名の会員から四十九点の作品が集まりました。安全推進委員会の審査の結果、次の十点を入選としました。

仕事場へ今日も運ぼう
安全、笑顔 田島 英三

安全は会員相互の支えから 佐藤 源四郎

安全は日々の気付きの
積み重ね 高崎 義博

安全は基本手順の繰り返し 萩原 清美

この程度
緩む気持ちが事故の元 佐藤 源四郎

グループ作業、
相互注意で無災害 原 利枝

事故の芽を
気付く心のゆとり持て 高崎 義博

ゆとりある、作業進めて
無災害 佐藤 春信

自信過剰、慣れた作業に
潜む事故 萩原 清美

安全は基本手順の繰り返し 萩原 清美

安全は基本手順の繰り返し 萩原 清美

この程度
緩む気持ちが事故の元 佐藤 源四郎

グループ作業、
相互注意で無災害 原 利枝

事故の芽を
気付く心のゆとり持て 高崎 義博

新会員紹介 五十音順

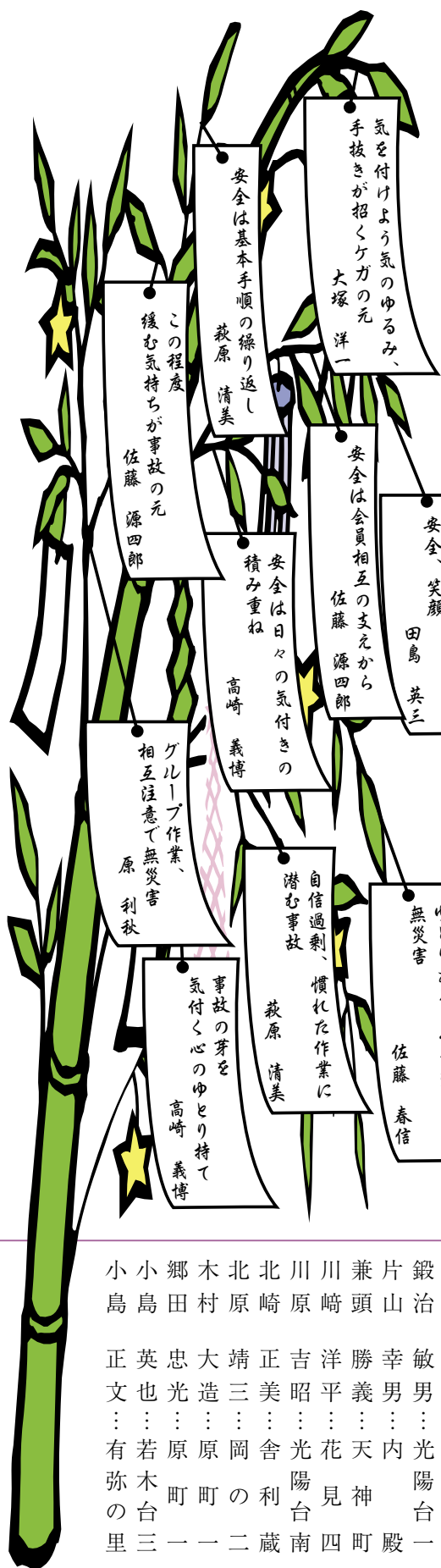
(平成二十三年七月一日〜)

平成二十四年七月十一日

氏名

区名

青井 省三	大和	井上 芳子	東福岡	赤星 利孝	花見	荒谷 元治	町	荒牧 三三	花見	石井 隆稔	宮西	石津 ツヤ子	宮司	石津 榮一	宮司	井上 利明	花見	井上 英明	星ヶ丘	魚住 昭一	緑ヶ丘	上田 和男	岡の	宇佐見 重夫	五反田	内田 博	東福岡	遠藤 誠	上西郷	大辻 宏介	大和	大音 重成	四角	沖和 明	若木	音成 正博	緑台	鍛冶 敏男	光陽	片山 幸男	内殿	兼頭 勝義	天神	川崎 洋平	花見	川崎 吉昭	光陽	北崎 正美	舎利	北原 靖三	岡利	木村 大造	原の	郷田 忠光	原町	小島 英也	若木	小島 正文	有弥
-------	----	-------	-----	-------	----	-------	---	-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	-----	-------	-----	-------	----	--------	-----	------	-----	------	-----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----





5月12日 アジサイロード (54名)

地域ボランティア活動



ふくつ梅の恵みジャム
完成品

今年度から、当センターでは企画提案事業（「ふくつ梅の恵み」事業）に取り組み、市梅林園の梅をジャムや梅干しに加工し販売する試みを行っています。このことは環境保全を目的とした梅林園の梅の実であること、シルバー事業の新たな職域の開拓になるという、そして市の活性化に繋がることとして意義が

新規事業の紹介
「梅ジャム」の加工販売事業を始めました。

今年度から、当センターでは企画提案事業（「ふくつ梅の恵み」事業）に取り組み、市梅林園の梅をジャムや梅干しに加工し販売する試みを行っています。このことは環境保全を目的とした梅林園の梅の実であること、シルバー事業の新たな職域の開拓になるという、そして市の活性化に繋がることとして意義が

あると考えています。

今回出来上がった「梅ジャム」は、女性会員四名が数日間、一鍋一鍋、丁寧に煮詰めて作りしました。六月二十三日（土）の「あじさいまつり」へ出店し、市民の方からは「梅の酸味が美味しい」「夏バテに効きそう」と好評を頂きました。

今年は収穫量が少なかったため、販売数も計百五十個とわずかでしたが、現在「かんたん梅干し」も試作中です。来年度は、より多くの方へ販売し、事業をPRしていきたいと思っています。



5月13日
上西郷小学校 (12名)



5月12日
津屋崎小学校(30名)

会員のボランティア活動として継続している地域の美化作業は、今回も、各小学校をはじめ多くの個所で地域の方々とともに、しっかりと汗を流しました。

5月19日 神興小学校(22名)



「あじさいまつり」での販売風景



梅ジャム
加工中！

渡邊	吉永	吉田	吉田	吉岡	山本	山見	山口	宮本	松田	松尾	松尾	益田	藤本	福崎	平川	春口	花岡	野村	野上	中村	中村	中野	永島	田畑	高山	高林	鈴木	末光	島田	佐々木	後藤
富義	由美	義実	義春	藤夫	孝夫	祐子	俊二	勝秋	茂義	幸彦	治彦	照代	一廣	久一	勝登	和夫	寛実	浩三	良三	康雄	眞津子	知津子	一三	純子	英昭	邦明	清一	俊雄	博次	好男	
蛙	内	末	手	原	上	東	福	福	福	司	和	和	見	在	東	若	光	宮	若	木	八	宮	東	東	西	光	末	西	勝	大	津
町	殿	広	光	三	郷	八	八	一	丘	一	一	谷	四	自	八	三	五	丘	二	四	並	一	八	一	一	六	広	東	原	一	丸

事務局だより

●熱中症は予防が大切です●

熱中症は予防対策により、十分に防ぐことができます。左記を参考にし、特に高温多湿時における就業時は予防対策に万全を期す必要があります。

熱中症の予防法

●水分・塩分の補給

こまめな水分・塩分の補給
※高齢者の方は、のどの渇きを感じなくてもこまめに水分補給をしましょう。

●体調にあわせた取組み

こまめな体温測定
※通気性のよい吸湿・速乾の服装や、保冷剤、水、冷たいタオル等による体の冷却をこまめに行いましょう。

●熱中症になりにくい室内環境
扇風機やエアコンを使った温度調整

※室温が上がりにくい環境の確保(こまめな換気、遮光カーテン、打ち水等)やこまめな室温の測定を行いましょう。

●外出時の準備

※日陰を利用、こまめな休憩を取りましょう。

●睡眠不足・疲労は大敵です

暑くて食欲の落ちる時期で

も、栄養のバランスを考え必ず食事をとりましょう。又、夜遅くまでの飲食や二日酔いは病気のもとです。

●仕事の前日は寝不足にならないよう、十分に睡眠をとりましょう。(注)体調の悪い時は、事前に連絡を取り、思い切って休みましょう。



感謝状をいただきました。



サンテラス福祉会より
感謝状をいただく清水理事長

○去る六月三十日(土)、サンテラス福祉会の三十周年記念式典が行われ、当シルバー人材センタ―は永年寄付団体として感謝状をいただきました。これは地域の障がい者施設への支援ということでシルバーまつり(チャリティー包丁研ぎ) 売上金を永年寄付してきた活動に對して、あらためて謝意を表していただきました。

就業相談日

○平成二十四年度就業相談日

場所 ふくとぴあ

8月22日(水)	14時～16時	ゆうゆうルーム
9月19日(水)	14時～16時	ゆうゆうルーム
10月17日(水)	14時～16時	わくわくルーム
11月21日(水)	14時～16時	わくわくルーム
12月19日(水)	14時～16時	わくわくルーム
1月16日(水)	14時～16時	わくわくルーム
2月20日(水)	14時～16時	わくわくルーム
3月21日(木)	14時～16時	わくわくルーム

※シルバーに関していろいろなことを聞きたい会員の方は、どうぞお気軽に就業相談においで下さい。

配分金

※配分金の支払いは、翌月の十五日、但し支払い日が土、日の場合は、その前の金曜日の支払いになります。

シルバーまつり

○今年度のシルバー普及啓発促進事業「第8回シルバーまつり」は、十月二十一日(日)に開催します。(詳細は後日お知らせします。)

お知らせ

○「こどもの城」建設に伴うシルバー人材センター事務局の移動について
現在ふくとぴあ・いきいき交流館東側にある事務局は、「こどもの城」建設に伴い、今年十二月～来年一月の間でいきいき交流館西側へ移動します。時期が確定しましたら、皆様へ改めてお知らせいたします。

謹んでお悔やみ申し上げます

(平成二十三年八月～平成二十四年七月)
青木 直親様(十二月) 東福岡八宮本 研治様(三月) 西福岡一萩原 信正様(三月) 昭和一緒方 幸子様(五月) 宮司二入佐健太郎様(七月) 西福岡一

編集後記

「シルバーふくつ」15号発行に当り、広報啓発推進委員七名、事務局二名にて毎週火曜日に、連続七週に亘り毎回全員出席のもと取組みました。まず紙面構成を8面に分割、担当者を決め企画案に添って原稿作成をしましたが、中にはこのような編集経験をはじめとする委員もあり、リーダーの的確なアドバイスやベストなチームワークで思ったよりスムーズにいきました。この経験は今後シルバー広報活動に貢献出来るものと信じ、これからの活動に乞うご期待下さい。今後益々高齢化が進みシルバー社会の活動が重要になってきます。皆様といっしょにこれからの人生を頑張っていきたいです。

最後にシルバーふくつの発行にあたり多数の方からのご協力をいただき、本当にありがとうございました。

広報・啓発推進委員会一同